

茅野版MaaS実証実験

公共交通の利便性が低いことから、高齢者や学生等の自家用車移動ができない住民や、観光客、別荘居住者等による移動が活発に行われていない。AIオンデマンドタクシーや「通学運行バス」の導入によって交通の利便性を向上させ、自家用車の所有が不要な地域を目指すとともに、市内の商業施設等のクーポン発行等により地域経済の活性化を目指す。

| | | | |
|-------------|--|---|--|
| 協議会の 構成員 | 【幹事】茅野市、諏訪中央病院組合、公立諏訪東京理科大学、茅野商工会議所、長野県茅野警察署、国土交通省、長野県諏訪建設事務所、東日本旅客鉄道(株)、運行事業者、別荘地デベロッパー、各市民団体 | | <h3>取組イメージ</h3> <h4>MaaSを通じて提供しているサービスのイメージ</h4>  |
| 地域課題 | <ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通空白地帯の存在等公共交通の利便性の低さ ● 高齢者の免許返納が進まないことによる、交通事故件数の増加 ● 観光客や別荘居住者、学生等の市街地での消費の少なさ ● 大学生の卒業後の市への定着率の低さ ● 公共交通の維持に係る財政の負担 | | |
| 取組の概要 | 期間 | 2020年12月7日～2021年3月31日 | <h4>AIオンデマンドタクシー利用イメージ</h4> <p>①アプリ上でAIオンデマンドタクシーを検索・予約</p>  <p>②AIオンデマンドタクシー到着・乗車</p>  |
| | エリア | 豊平、玉川、泉野、中大塩、市街地（ちの）、米沢の一部、高速茅野バス停 | |
| | MaaSシステム | MaaSアプリ「のらざあ」を独自に構築 | |
| | 交通サービス | <ul style="list-style-type: none"> ● (乗合型) AIオンデマンドタクシーの導入 ● (乗合型) AIオンデマンドタクシーの予約・決済機能の提供 ● 学生の通学時の交通の利便性を向上させる「通学運行バス」の導入 ● 既存の停留所に加え、「通学運行バス」の新たな停留所の設置や、停留所の近辺に駐輪場を新設 | |
| 交通以外のサービス | <ul style="list-style-type: none"> ● 知人に「のらざあ」を紹介した利用者へのAIオンデマンドタクシー無料乗車券の配布 ● 提携する店舗等のクーポンの配信 | | |
| 検証内容 | <ul style="list-style-type: none"> ● AIオンデマンドタクシーの提供による高齢者の外出頻度の増加及び自家用車を利用した外出頻度の低下の検証 ● クーポン発行やサービス提供による市街地等への外出頻度の増加の検証 | | <h3>検証結果</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の「のらざあ」登録者数は300人となり、高齢者のAIオンデマンドタクシー利用者数は524人となった（R3.2未までの累計）。また、全体のAIオンデマンドタクシーの利用者数としては、31.9人/日（R3.2）となり、市街地への外出頻度増加に寄与している。 ● クーポン発行店舗への来訪者数は合計8人となり、クーポン発行による来店数が増加し、市街地内店舗の売り上げに貢献している。 |
| | | | <h3>今後の方向性</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 今後の高齢化社会のさらなる進展を見据え、だれもが安心して移動できる環境を提供していく必要を感じており、本実証での課題を踏まえて、継続実施に向けて今後も検討を進めていきたいと考えている。（継続実施に向けた課題：新たな公共交通の導入効果は時間をかけて発現するものである。現時点では採算ベースに未達であり、民間事業者単独での実施は困難であると考えている。） |